

● 地域提案型

平成21年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	モンゴル
2. 事業名	新潟県・ウランバートル市道路排水計画技術協力事業
3. 事業の背景と必要性	ウランバートル市の年間降水量は、50～300mm（年平均約200mm）であり、日本の平均年間降水量1,630mm（H20）に比べて、約1/10程度と極めて少ない。これまでは、道路の計画・建設にあたって雨水を排除するための道路側溝などの施設設置は、ほとんど考慮してこなかったと考えられる。現在、同市内の道路延長は400km、内道路側溝が整備されているのは15%の62kmという状況である。近年、降雨強度が異常に強くなる傾向にあり、都市周辺部の開発やゲル住居地域の拡大が進み、雨水の地下浸透や自然流下に大きな影響を与えている。結果、降雨の度に道路湛水箇所が何箇所も発生し、市内の交通に大きな支障となっており、市民生活や経済活動にも多大な影響を与えている。
4. プロジェクト目標	ウランバートル市の複数の道路部職員が、道路排水施設の必要性を認識し、当プロジェクトで習得した知識・技術力に基づいて、直面する道路湛水問題の解決のため、市内道路の排水計画の策定、及び計画に基づく施工ができる。
5. 対象地域	モンゴル国 ウランバートル市
6. 受益者層（人数規模）	ウランバートル市地区住民
7. 活動及び期待される成果	<p>1-1：道路の安全性・快適性に関する概念が理解できる。</p> <p>1-2：道路排水の必要性・対策方法が理解できる。</p> <p>2-1：現状の原因・課題が把握・分析できる。</p> <p>2-2：降雨データ、地形・地質データ等が分析・活用できる。</p> <p>2-3：将来の維持管理のし易さにも配慮した、適切な道路排水計画が策定できる。</p> <p>2-4：排水計画に基づく施設設計と設置工事が実践できる。</p> <p>3-1：道路維持管理の必要性が理解できる。</p> <p>3-2：維持管理の手法が理解できる。</p> <p>【研修員受入】</p> <p>1-1：道路の安全性・快適性に関する概念</p> <p>2-2：道路排水の必要性・対策方法</p> <p>3-1：道路維持管理の必要性</p> <p>3-2：道路維持管理の手法</p> <p>【専門家派遣】</p> <p>2-1：現状の原因・課題の把握・分析</p> <p>2-2：降雨データ、地形・地質データ等の分析・活用</p> <p>2-3：道路排水計画の策定</p> <p>2-4：道路排水計画に基づく施設設計と設置工事の実践</p>
8. 実施期間	2010年7月5日から2013年3月29日
9. 事業費概算額	20,398千円
10. 事業の実施体制	日本側実施団体：新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会 モンゴル側カウンターパート：ウランバートル知事室道路部
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会（新潟県）
2. 対象国との関係、協力実績	2008・2009年度に「(財)自治体国際化協会」の「自治体国際協力促進事業(モデル事業)」による「道路雨水排除を含む道路改善・維持管理」に関して技術協力を実施